

看護師職能委員会報告



【開催日時】 平成 29 年 8 月 10 日（木） 10：00～16：00
平成 29 年 9 月 7 日（木） 10：00～16：00

【活動内容】

平成 29 年度は 7 名の新委員を迎え、13 名で活動しています！

◎小委員会活動

1. 看護師職能Ⅰ（病院領域）

- 1) 8/30（木）施設代表者会議にて「看護師長が担うべき役割についての意見集約」結果を報告しました。看護師長が担うべき役割 21 項目について「重要度」と「委譲の可否の程度」の 2 つの観点から意見集約し、全国と長崎県の結果を報告しました。

★結果は下記資料をご参照ください。

- 2) 「看護師長が担う役割についての研修と」運営について検討

9/9（土）開催し、71 名の参加がありました。

独立行政法人国立病院機構 熊本南病院看護部長 木下日出美先生から「看護師長の役割と期待すること」と題してお話をいただきました。その後ワールドカフェ形式による交流会を開催しました。初めての取組みでしたが、最後は一人ひとり「明日からできること」を決意表明して盛会に終了しました。

- 3) 「病院と施設および在宅で働く看護師交流会『看護を語る会』」運営について検討
4 名の話題提供後、情報交換・情報共有の予定です。

ふるってご参加ください！

2. 看護師職能Ⅱ（在宅・施設領域）

- 1) 「介護施設や在宅で勤務している看護師の継続教育の意見集約」について検討
長崎県内の継続教育の実態を調査予定です。ご協力をよろしくお願いします。

- 2) 「看護師のクリニカルラダー～概要・導入～」運営について検討

10/22（日）午前中のお話は、「あらゆる施設や場で働く看護師に必要な看護実践能力を身につけるためのクリニカルラダー（日本看護協会版）を理解する」というねらいです。これから始める予定の施設、見直しの予定の施設など、多くの方のご参加を期待しております。

報告者： 福田妙子

I. 目的

日本看護協会重点事業の「看護師長が担うべき役割に関する意見集約」を長崎県で実施し、その傾向を知ること、看護師長が生き活きと役割を發揮していくための教育研修を企画し実施へつなげる。

II. 意見集約

1. アンケート方法

1) 内容

日本看護協会が看護師長の役割について集約した 21 項目で、重要度と委譲度を調査する。なお重要度は日本看護協会と同様に「病床管理」を「5」として調査する。

*21 項目

- a) 病床管理、b) 経営貢献、c) 病院事業への参画、d) 部署の課題の明確化/方針立案/運営、e) 看護の質保証/改善/向上、f) 安全管理、g) 業務管理、h) 退院支援・継続看護、i) 人間関係の調整、j) 患者・家族への対応・支援、k) トラブル対応 1)
地域連携、m) 他部門・他職種と連携、n) シフト管理、o) 働きやすい環境づくり、p) スタッフの心身の健康管理、q) スタッフの育成・支援、r) 学生の育成・支援、s) 個々のキャリア支援、t) 情報管理、u) 環境整備・物品管理

2) 対象

長崎県央・県南施設代表者会議に出席の看護部長 22 名、看護師長 12 名
福祉施設看護師長 7 名

3) 実施日

県央：2016 年 12 月 10 日

県南：2016 年 12 月 17 日

2. アンケート結果と考察

全国 3 回目結果と長崎県（看護部長・看護師長両者）を参考に考察する。

1) 重要度

(1) 平均値は全国 6.6、長崎県は 6.3 でほとんど変わらない。各項目の幅は全国 4.5～8.7 に対して、長崎県は 5～7.8 で全項目が平均的に重要であると回答している。

(2) 高い 3 項目は、「部署の問題の明確化/方針立案/運営」・「看護の質保証/改善/向上」・「安全管理」で、全国と長崎も同じ項目である。

(3) 低い 3 項目は、「学生の育成」・「病床管理」・「環境整備・物品管理」で、全国と長崎も同じ項目である。

2) 委譲の可否

(1) ある程度委譲できる～委譲できるは、全国 79.9%に対して長崎県は 61.3%であった。

(2) 「地域連携」は長崎（32. %）が全国（28.6%）より委譲できると回答している。しかし、ある程度委譲できる～委譲できるを比較するとほとんど変わらない（全国：92.9%、長崎：91.2%）。

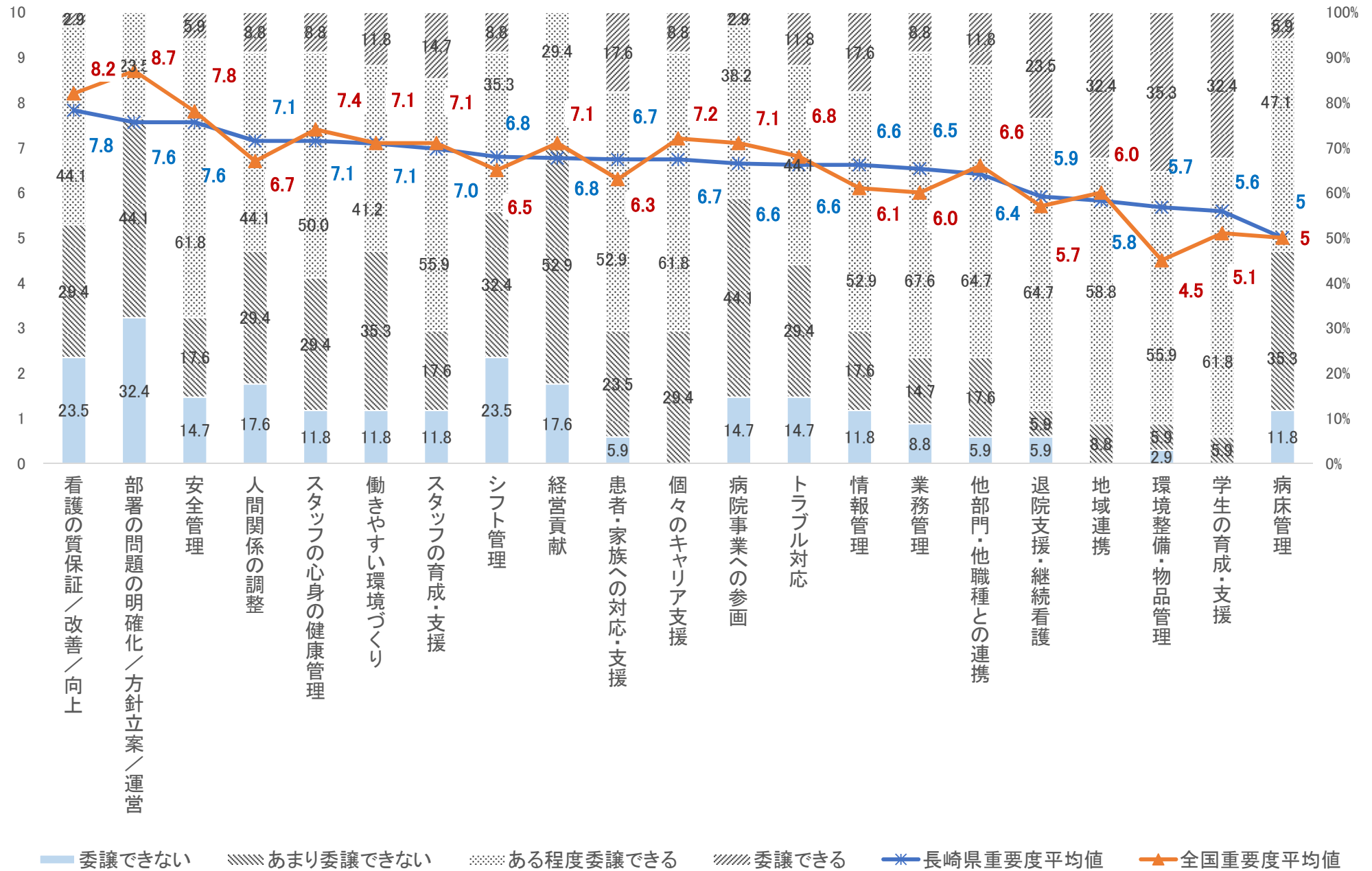
- (3) 全国は「地域連携」以外の 20 項目すべて長崎より委譲できると回答している。
- (4) 全国も長崎もある程度委譲できる～委譲できると高く評価した 3 項目は、「退院支援・継続看護」・「学生の育成・支援」・「環境整備・物品管理」であった。しかし委譲できるだけで全国と比べると、長崎は低く回答している（全国：47.6%～76.2%、長崎：23.5%～35.3%）。
- (5) 委譲できない高い項目は、全国と長崎ともに「部署の課題の明確化／方針立案／運営」・「経営貢献」・「病院事業への参画」の順であった。
- (6) 長崎が全国と比べ、あまり委譲できない～委譲できないと高く回答している項目は 21 項目すべてであった。特にその差が大きい項目は「病床管理」と「シフト管理」であった。

3. まとめ

- 1) 看護師長の役割 21 項目の重要度の捉え方は全国とほとんど同じである。
- 2) 委譲の可否は、全国と比べると長崎県は業務を抱え込む傾向にある。
業務の整理や委譲の仕方、人材の活用など看護マネジメントが必要である。
- 3) 地域連携や退院支援・継続看護、他部門・多職種との連携は委譲できるとしている。専門部門の設置や地域包括ケアシステムにおける自施設の役割機能に関しての取組みが伺える。
- 4) 「重要度」「委譲の可否の程度」の 2 つの観点から検討・見直しをすることが、看護師長の役割を整理していくうえで重要である。
そのために、看護師長が役割を発揮していくための支援や教育に関する課題として、学びをつなげる OJT の機会や施設を超えて看護師長が情報交換・共有できる場の提供が必要である。

看護師長が担うべき役割に関する意見集約(重要度は全国・長崎県比較)

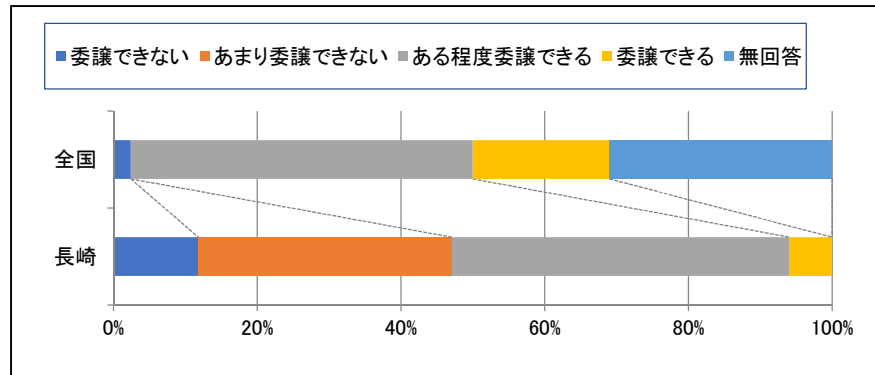
資料1



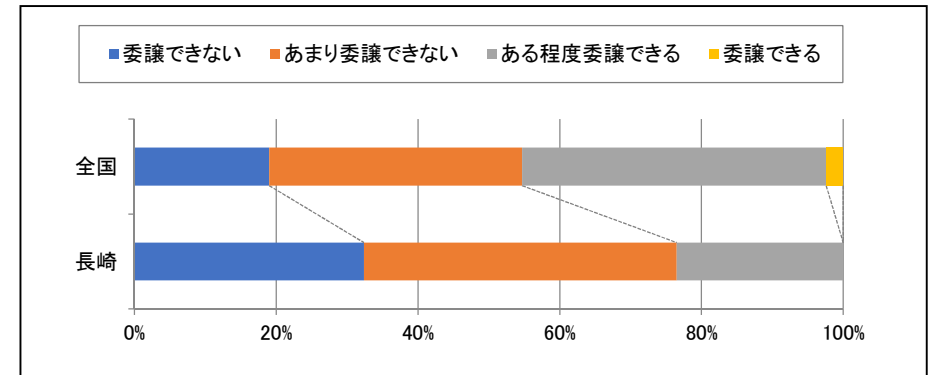
看護師長が担うべき役割に関する意見集約（委譲の可否 全国・長崎県比較）

資料 2

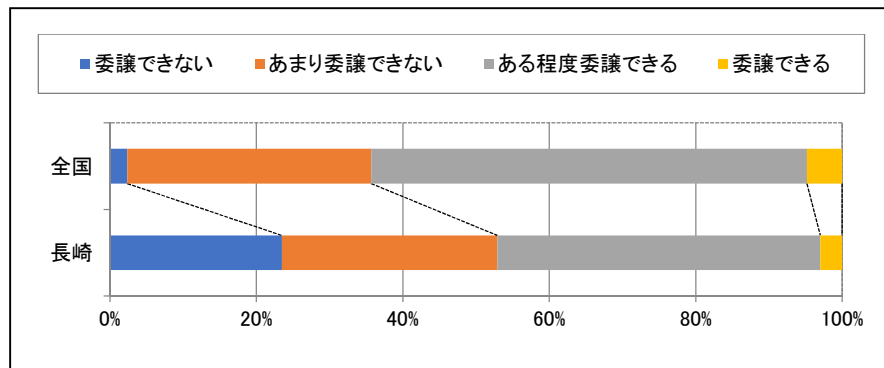
1. 病床管理



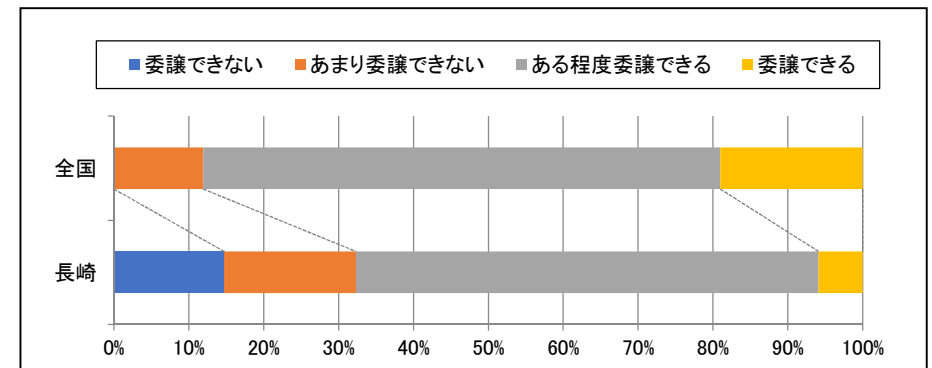
2. 部署の課題の明確化／方針立案／運営



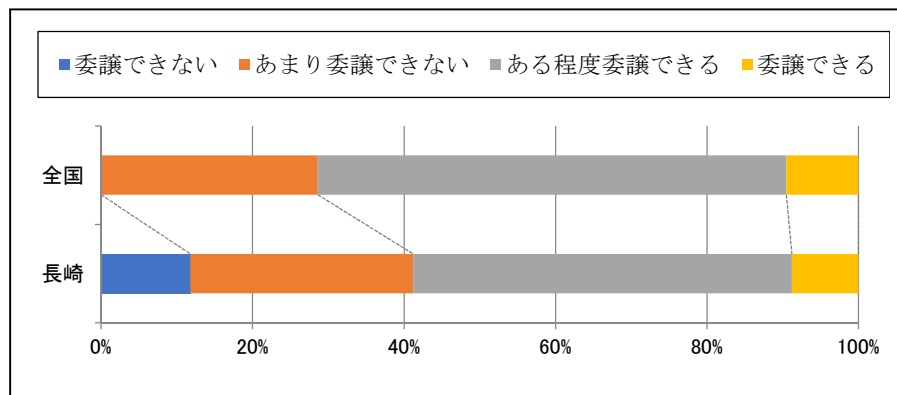
3. 看護の質保証／改善／向上



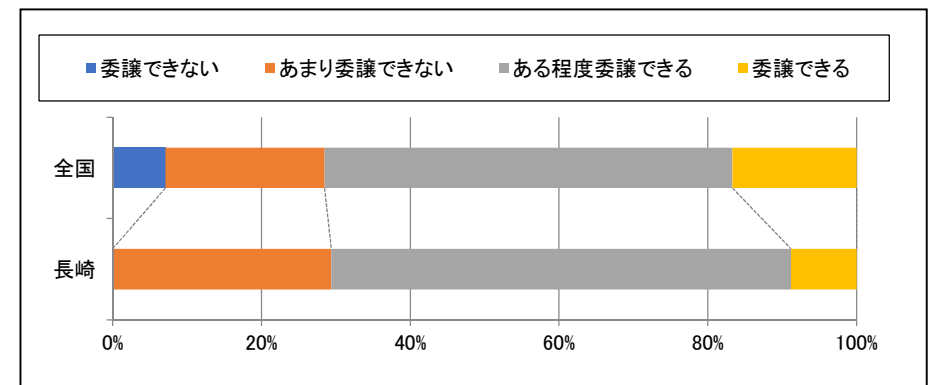
4. 安全管理



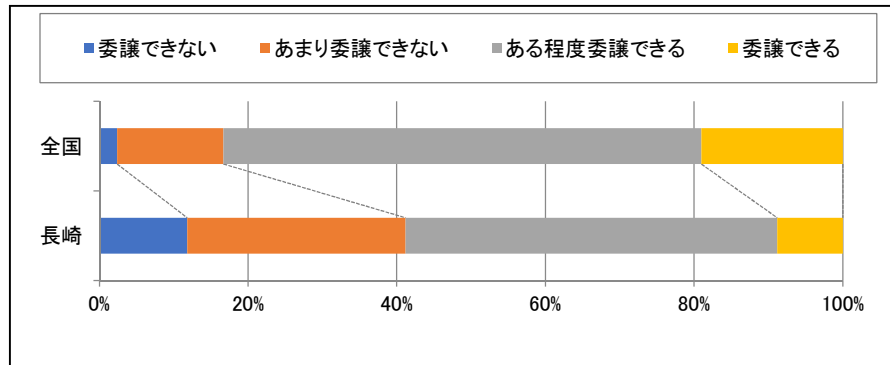
5. スタッフの心身の健康管理



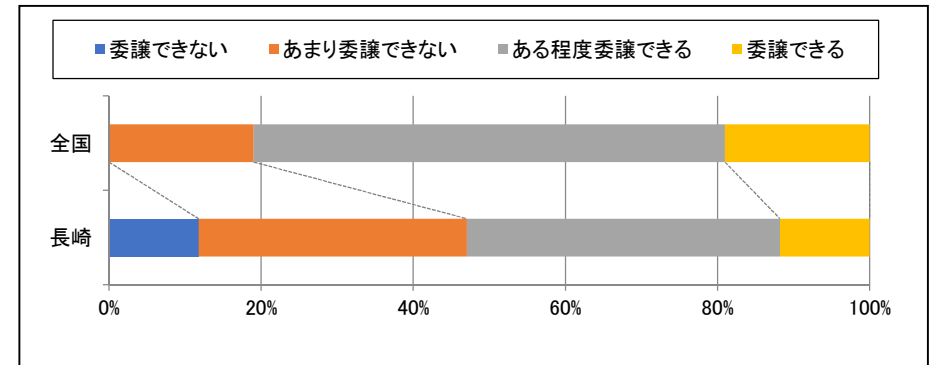
6. 個々のキャリア支援



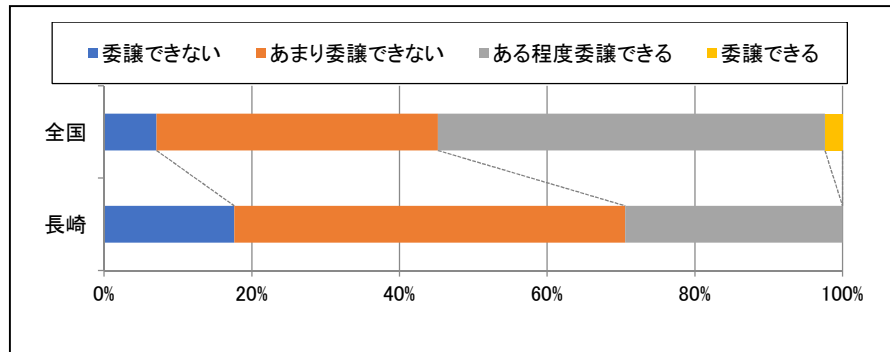
7. スタッフの育成・支援



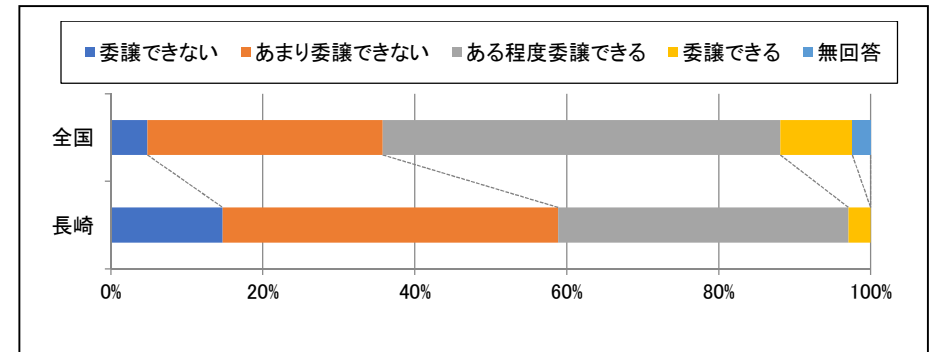
8. 働きやすい環境づくり



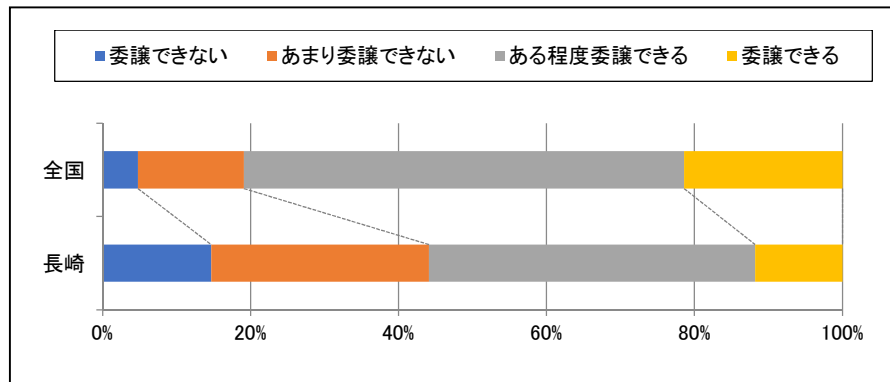
9. 経営貢献



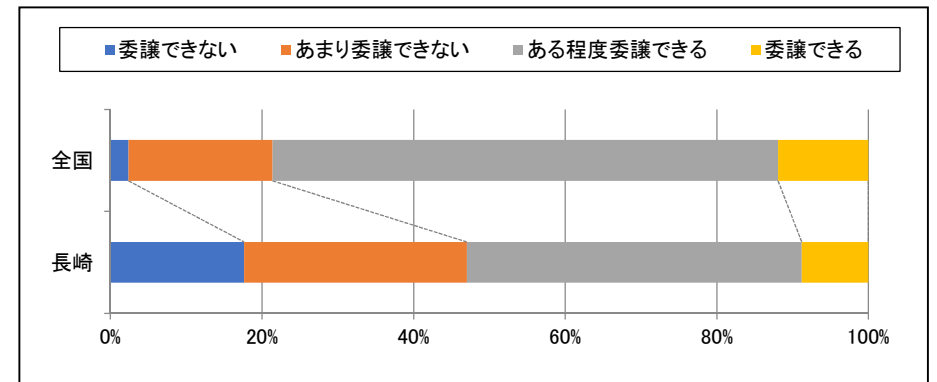
10. 病院事業への参画



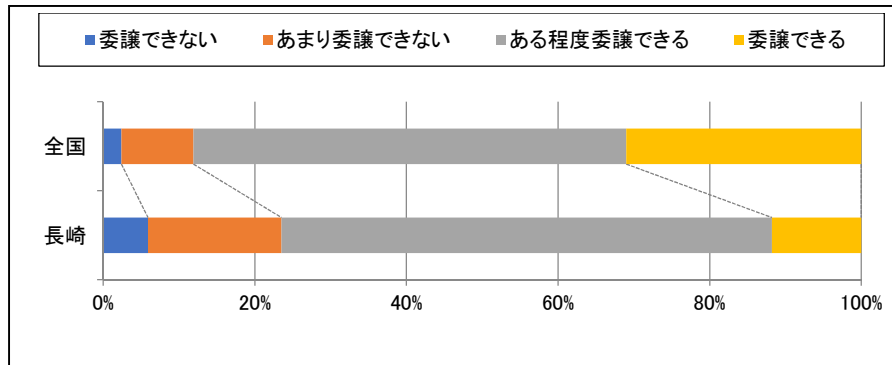
11. トラブル対応



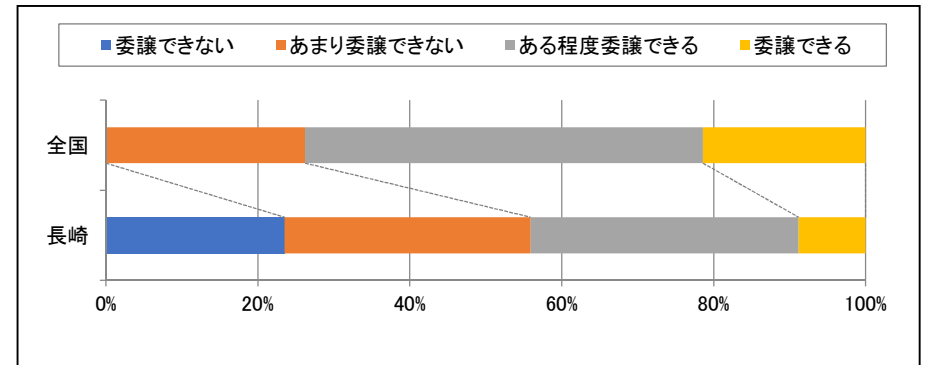
12. 人間関係の調整



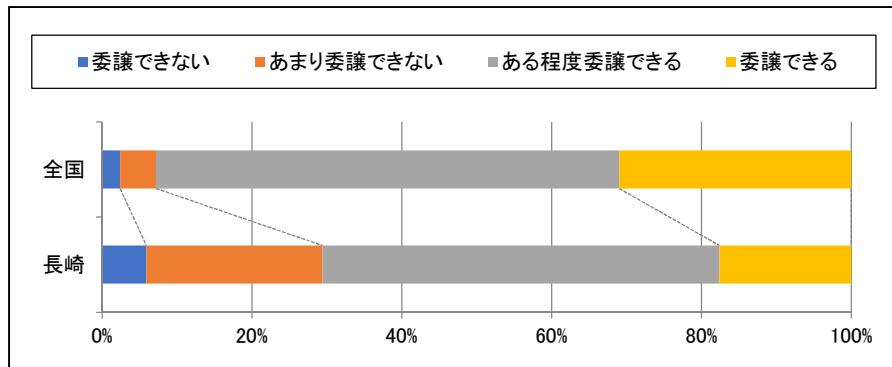
13. 他部門・多職種との連携



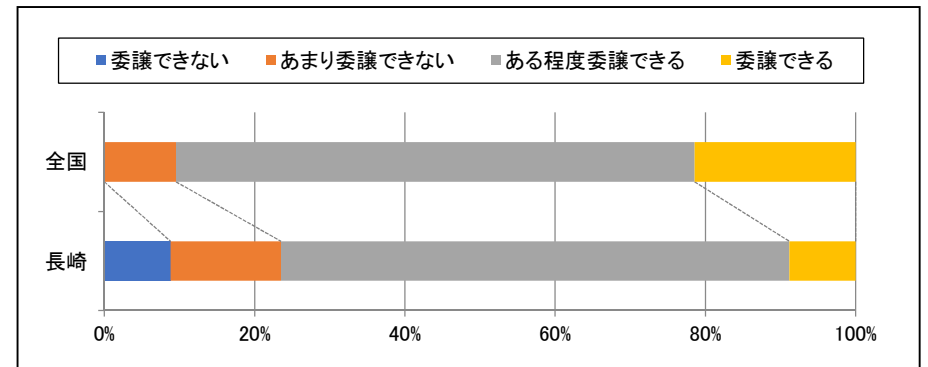
14. シフト管理



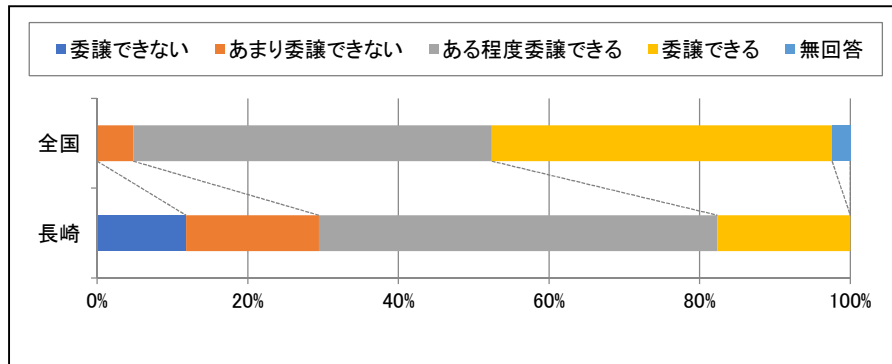
15. 患者・家族への対応・支援



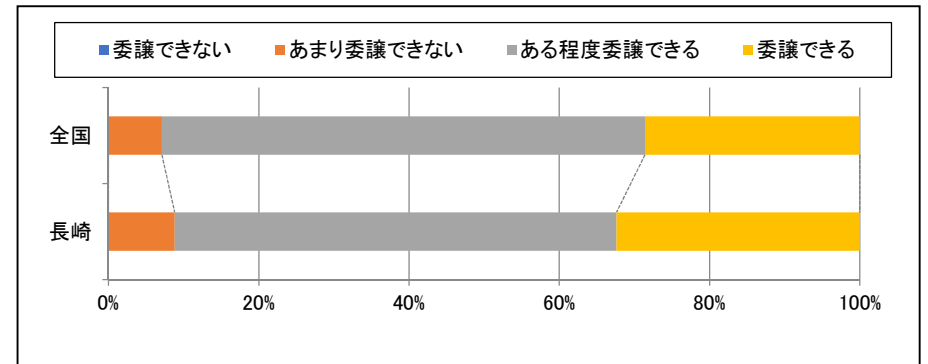
16. 業務管理



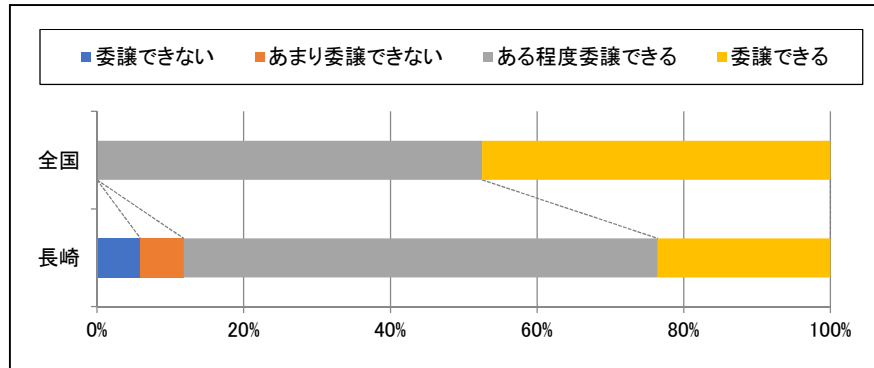
17. 情報管理



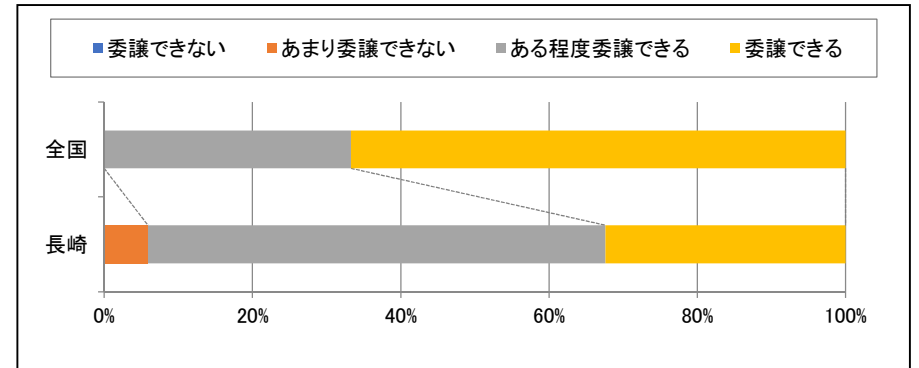
18. 地域連携



19. 退院支援・継続看護



20. 学生の育成・支援



21. 環境整備・物品管理

